

慎重さ 調和性 目標志向 内省 自我

今やるべきこと、やりたいことが絞れていて目標ができると、その目標を達成するために、様々実行していくにあたってのリスクをじっくり時間を掛けて検討します。そして、その目標から遡って途中途中に確実に達成可能な中途目標としてのマイルストーンを置き、計画的に一つひとつのタスクを漏れなく実行して着実な成果を出します(慎重さx目標志向x内省)。

目標に向かい、一直線に進みつつも、周囲との軋轢を生むことのないよう配慮することも忘れず、周りの人の声にも耳を傾けます(慎重さx調和性x目標志向)。

自分が出した成果を周りから認められ、賞賛されるとモチベーションが上がり、「また次も頑張ろう！」と思います(自我)。それでも決して周りから浮くことのないよう謙虚でいることも忘れません(慎重さx調和性x自我)。

自我で「もっと前に出て賞賛されたい」という思いがありつつ、慎重さx調和性で「出る杭にはなりたくない」という思いがぶつかりもどかしく感じることもあるかもしれません。どういう動機づけであれ「人の役に立つ」ということには変わらないので、少しずつブレーキを緩めて自我を解放してあげると良いと思います。